

北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

〔発行〕

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

地域戦略研究所 発足！

北九州市立大学では、文部科学省の補助事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」の採択（事業名：「北九州・下関まなびとびあ」を核とした地方創生モデルの構築）※p.4 参照を受け、充実した事業推進を展開していくため、2015年11月20日を以って付置研究所の「都市政策研究所」を「地域戦略研究所」に改組しました。

都市政策研究所時代からの調査研究部門と併せ、教育・就職部門、事業化部門を置き、COC+事業の調整・実施機関として、北九州・下関地域の経済団体や自治体とも連携しながら、学生の地元定着促進をはじめとする調査研究、企画立案及び事業推進を行ってまいります。

よろしくお願ひ申し上げます。



写真 開所式の様子（2015年11月20日）

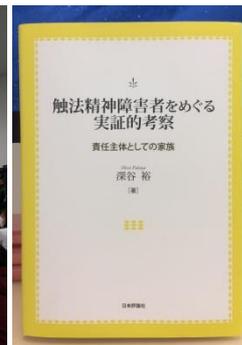
左から岡本博志・元都市政策研究所長、近藤倫明学長、柳井雅人副学長兼地域戦略研究所長

写真で見る、地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録（2015年10月～12月）



①	②
③	④ ⑤

- ①：地域戦略研究所 開所式での柳井雅人所長挨拶
- ②：ハイフォン工業職業短期大学での指導〔吉村英俊教授〕（p.2 参照）
- ③：フットパス国際シンポジウム in 中間〔内田晃教授〕（p.2 参照）
- ④：J 2 ギラヴァンツ北九州「スタジアム応援に関する説明会」〔南博准教授〕（p.2 参照）
- ⑤：深谷裕准教授著書『触法精神障害者をめぐる実証的考察—責任主体としての家族』（p.2 参照）



※2015年11月19日までの都市政策研究所の実績も含まれます。

地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

【2015年10月～12月】

ハイフォン工業職業短期大学の実習指導教員のレベルアップ [吉村英俊教授]

地域戦略研究所では、2009年度から姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市の裾野産業の育成を人材育成と経営指導の両面から推進してきました。これまでにさまざまな分野の人材育成に取り組んできましたが、そのひとつに切削加工（旋盤・フライス盤）の実習指導教員の技能指導があります。北九州マイスターやKITA*専門家と協働で今年3月から計5回指導してきました。指導を進めていく中で、教員の技能は高く理解も早いですが、作業手順書や刃工具などが不足していることが分かりました。そこで北九州市から技術資料や刃工具、完成品見本などを準備して指導を行い、旋盤については全員が日本の技能検定3級レベルに到達するまでになりました。中には2級レベルに達した先生もいます。現在、これら先生が中心になって、学生に3級レベルの指導を行うための指導要領の準備を進めています。なお、3月に全員2級レベル到達を目指して最後の指導を行う予定です。

*KITA：公益財団法人北九州国際技術協力協会

「フットパス国際シンポジウム in 中間」を主催 [内田晃教授]

本学の主催で「フットパス国際シンポジウム in 中間」を2015年11月28日、29日に開催しました。シンポジウムではフットパス発祥の地・英国からお呼びしたシーラ&ロバート・タルボット夫妻に「イギリスの歩く文化とWaWの取組」と題した基調講演を頂き、地域創生学群の学生が中間市でのフットパス活動の経緯やその成果について発表しました。パネルディスカッションでは同夫妻、住民、学生、フットパス専門家、行政の代表者にご登壇頂き、地方都市で歩く文化を浸透し、若い力と地元住民の連携を図りながらフットパス活動を継続していく意義について議論を深めました。翌日は3つのフットパスコースを約100名の参加者が歩きました。当研究所では地域創生学群、キャリアセンター、地域共生教育センターとの連携で「北九州市立大学をフットパスの研究・教育拠点として確立するための学際的実証研究」と題した共同研究を実施しています。また今後も、中間市、宮若市、行橋市などでフットパス活動を学生と共に進めていきます。

サッカーJ2 ギラヴァンツ北九州「スタジアム応援に関する説明会」コーディネーター [南博准教授]

地域戦略研究所では、2008年度から地元プロスポーツクラブのJリーグ“ギラヴァンツ北九州”と連携し、様々な調査研究や地域貢献活動に取り組んでいます。2015年シーズンのギラヴァンツ北九州はJ2の22クラブ中7位の好成績を残しましたが、サポーターの応援のあり方を巡り、クラブと一部サポーター等の間で緊張が高まる難しい局面がシーズン後半に発生し、様々な報道も行われました。シーズン終了直後の2015年12月6日（日）にギラヴァンツ北九州が開催した市民・サポーターを対象とした説明会において、クラブと市民・サポーターの中立的な立場で南がコーディネーターを務め、経営陣と市民・サポーターの意思疎通の円滑化に向けての第一歩の会合の進行役を担いました。

『触法精神障害者をめぐる実証的考察—責任主体としての家族』刊行 [深谷裕准教授]

精神障害のある子ども、親、配偶者、兄弟姉妹が十分な判断能力が備わっていない状態で、殺人や強盗、放火といった重大な事件を起こしたとき、その家族にはどのような責任が生じるのでしょうか。また、責任を引き受けるということは家族にとっていかなる意味をもつのでしょうか。この本は、重大な他害行為を行った精神障害者の家族を取り巻く法的・社会的責任について、裁判資料やインタビュー調査等の実証的な考察をふまえて論じています。

江戸時代の「五人組」に象徴されるような連帯責任制は現代ではありません。むしろ近代化以降は、地域住民は規範や常識を通して責任を付与する側にまわっていることができます。しかし、さまざまな社会問題に対応していくためには、このような地域のあり方を見つめ直す必要が出てきています。私たちの周りで日々起きている出来事に対して、地域社会はどのように責任を分担していくことが出来るのでしょうか。

その他の主な活動記録 [所長、専任教員] ※各項目ごとに担当教員（[] 表記）の五十音順に列挙

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等（抜粋）

- 自律型自動運転技術を活用した地域交通マネジメントに関する研究関連調査 [内田]
- 北九州市立大学をフットパスの研究・教育拠点として確立するための学際的実証研究 [内田]
- Jリーグ公式スタジアム観戦者調査（ギラヴァンツ北九州 vs 横浜FC） [南]
- 北九州ポップカルチャーフェスティバル 2015 来場者調査 [南]
- 北九州空港の利用に関するアンケート調査、ヒアリング [宮下・内田]
- 北九州市の女性活躍促進に関する調査（連携：アジア女性交流・研究フォーラム） [吉村]
- ベトナム・ハイフォン市の裾野産業育成（連携：北九州市、JICA、KITA） [吉村]
- ベトナム・ハイフォン市の鋳物工場電気炉導入によるCO2削減（連携：アジア低炭素化センター） [吉村]
- インド産業人材育成（連携：海外産業人材育成協会） [吉村]
- カンボジア・プノンペン市との産業交流（連携：北九州市） [吉村]

■講演等

- アジア成長研究所「室町一丁目再開発事業の景観形成と波及効果～広がるリバーウォーク北九州の影響～」講演 [内田]
- JICA「持続可能な都市経営に関する国際シンポジウム」コーディネーター [内田]
- 一般社団法人主催「触法者を親にもつ子どもについて」講演 [深谷]
- 長崎経済同友会「道州制の現状と方向性等について」講演 [南]
- 副都心黒崎開発推進会議「地域づくりマネージャー養成塾」コメンテータ [宮下]
- 北九州市立年長者研修大学校周望学舎「ベトナム事情」講演 [吉村]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会（主なものを抜粋）

- 北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会 [柳井]
- 北九州市公共事業評価に関する検討会議委員長 [柳井]
- 北九州市コンパクトなまちづくり専門小委員会委員長 [柳井]
- 北九州市上下水道事業検討会座長 [柳井]
- 遠賀川学識者懇談会委員会（国土交通省九州地方整備局） [柳井]
- 北九州市環境首都総合交通戦略推進連絡会副会長 [内田]
- 直方市まち・ひと・しごと創生有識者会議座長 [内田]
- 宮若市まち・ひと・しごと創生推進会議会長 [内田]
- 芦屋町地方創生推進会議会長 [内田]
- みやこ町総合計画審議会会長 [内田]
- 北九州市障害者自立支援協議会副会長 [深谷]
- 北九州地域連携懇談会構成員 [南]
- 北九州市スポーツ推進審議会委員 [南]
- 北九州市大規模国際大会等誘致委員会検討会議委員 [南]
- 田川市協働のまちづくり市民検討会議会長 [南]
- 九州経済連合会行財政委員会委員 [南]
- 北九州市生きいき協会長寿推進協会委員 [宮下]
- 岡垣町まち・ひと・しごと創生懇話会会長 [宮下]
- 北九州市コンタクトセンター等事務系企業に関する調査研究委員長 [吉村]
- 北九州ベンチャー・イノベーションクラブ副会長（FAIS） [吉村]
- 海外産業人材育成協会「インド産業人材ソフトスキル構築支援」専門家 [吉村]

■報道

- 読売新聞 10/14 朝刊、フットパス関連 [内田]
- ドイツ Cellesche Zeitung 12/8 朝刊、ツェレ市の観光振興、国際交流 [内田]
- 朝日新聞 12/2 朝刊 26面「触法者を親にもつ子どもについて」講演会 [深谷]
- 財界九州 11月号、特集『検証「道州制」』 [南]
- 西日本新聞 12/10 朝刊北九州面、「2015 ギラヴァンツの戦い」 [南]
- 朝日新聞 12/17 朝刊社会面「ギラヴァンツ社長、辞意表明」 [南]
- 日経グローバル 11月16号、特集「検証！地方交付税」 [宮下]

■その他の研究活動（各教員による取り組みのうち、主なもの）

- 日欧都市政策対話事業 第2回日欧都市交流会議（11/23-24@ドイツ・ライプチヒ、11/25-27@ラトビア・リガ） [内田]
- 九州・中国地方の市町村における銀行等引受債発行額・金利・償還期限等の調査（12月～） [宮下]



Jリーグ公式スタジアム観戦者調査
（北九州市立本城陸上競技場） [南]



北九州ポップカルチャーフェスティバル 2016 来場者調査
（西日本総合展示場新館、あさの汐風公園） [南]



教員コメント掲載雑誌

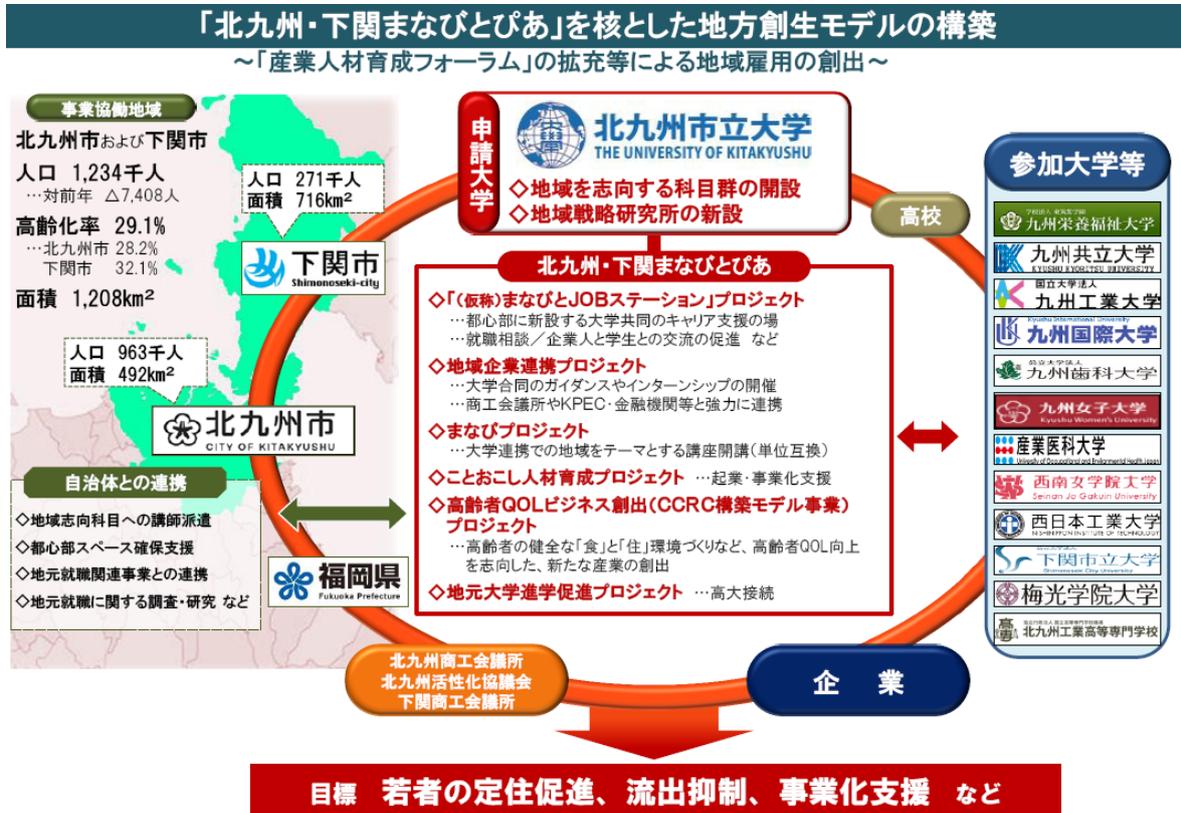
左) 財界九州 2015年11月号「道州制」 [南]
右) 日経グローバル 2015年11/16号「地方交付税」 [宮下]



第2回日欧都市交流会議 [内田]

COC+事業 『「北九州・下関まなびとぴあ」を核とした地方創生モデルの構築』について

本事業は、北九州および下関地域の13の大学・高専、3つの自治体、3つの経済団体が一丸となって「北九州・下関まなびとぴあ」を組織し、自治体の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を強力に後押しし、本地域における学生の地元定着や地域人材育成等を推進することを目的としています。代表校である北九州市立大学は、都市政策研究所を地域戦略研究所に改組・拡充し、調査・研究機関としての強みを活かして、各事業協働機関との調整推進を図っていくこととしております。



COC+事業に関するフォーラムを2016年3月下旬に開催!

詳細が決まり次第、別途、チラシや本学Webサイト等でお知らせいたします。ご参加いただけますと幸いです。

北九州市立大学 地域戦略研究所 メンバー紹介 (2016年1月1日現在)

	氏名	専門分野等
所長	柳井 雅人 副学長(経済学部教授)	経済地理学、企業立地論
専任所員 (五十音順)	内田 晃 教授	都市計画、都市設計、住宅計画
	片岡 寛之 准教授	都市解析、リノベーションまちづくり
	神山 和久 教授	消費経済学、消費者行政、世論調査
	深谷 裕 准教授	ソーシャルワーク、司法福祉、精神保健福祉
	南 博 准教授	都市政策、地域活性化、スポーツまちづくり
	宮下 量久 准教授	地方財政、地域振興、経済政策
	吉村 英俊 教授	地域産業政策、中小企業経営、社会システム工学
兼任所員 (五十音順)	浦野 恭平 経済学部教授	経営戦略論
	田代 洋久 法学部教授	都市・地域政策、地域づくり、地域マネジメント、文化創造
	松永 裕己 マネジメント研究科准教授	環境ビジネス・ソーシャルビジネスに関する経済地理学的研究
事務局	地域・研究支援課	調査研究等に関する事業全般(COC+事業関連を除く)
	経営企画課	地域戦略研究所の業務のうちCOC+事業関連